

あなたと議会

特集 市内9地区で
議会報告会を開催しました!

市政を問う
各種委員会の活動報告
12月定例会の結果



2019
202号
2月25日発行



国指定重要無形民俗文化財に指定されている発光路の強飯式



平成30年度後期 市内9地区で開催しました
 議会では、地域住民の皆さんと直接対話をさせていただくため、各地区で議会報告会・意見交換会を開催しています。平成30年度は、平成31年度予定分を前倒しし、計15地区を回りました。
 今回は、11月に市内9地区で開催した結果をお知らせします。

～もっと「議会」を身近に～

特集 議会報告会・意見交換会

地区別参加者数

開催地区	開催日	参加者数	(人)	
			男性	女性
東 部	11月5日(月)	53	49	4
栗 野	11月6日(火)	19	18	1
清 洲	〃	6	6	0
南 摩	11月7日(水)	42	38	4
中 央	11月8日(木)	56	40	16
北押原	〃	26	22	4
北犬飼	11月12日(月)	40	38	2
北 部	11月13日(火)	47	45	2
西大芦	〃	30	28	2
11月開催分計	9地区	319	284	35
5月開催分	6地区	234	194	40
平成30年度計	15地区	553	478	75

質問 今は結婚をしなくとも女性が自立できる時代。医療費や幼児教育・保育の無償化など経

■少子化対策について

回答 そういう仕組みづくりは大切だと思う。開催方法や執行部との連携について、今後の課題としたい。

■議会報告会の開催要領について

質問 この議会報告会が始まって何年か経つが、意見を言ってもその後どうなったかが分からない。市の対応状況も含め、回答を文書で示してほしい。

回答 その一部をご紹介します。5月に引き続き、議会の概要や主な活動等を説明・報告した後、「少子高齢化・人口減少」をテーマとして、参加者からの質問に答える形で意見交換を行いました。その一部をご紹介します。

質問 学校というのは地域の拠点であり、地域性のある子育てや教育にもかかわってくるので、できるだけ残してほしい。

■学校の統廃合について

回答 統廃合を行うに当たっては、教育委員会の方で地域とよ

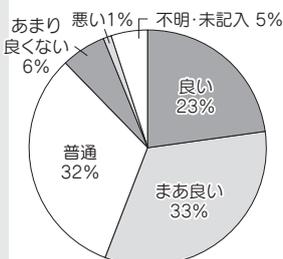
■スポーツ少年団の支援について

質問 娘がスポ少に入っているが、活動に対する市からの補助金が減らされている。活動をサポートする資金なので、減らさないでほしい。

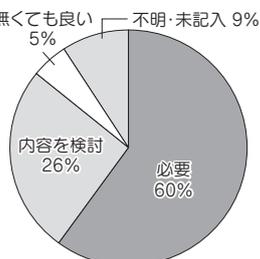
回答 子育てに対する安心感や子どもを産む動機付けがないと結果に結びつかない。現在も、安心して子どもを産み育てられるようにするためのサポート体制の整備や小中学生が赤ちゃんと触れ合う場の提供など、経済面以外の事業も実施しているが、もっと若い世代の意見に耳を傾け、さらなる提言をしていきたい。

グラフで見る参加者アンケート結果 (平成30年度15地区通算)

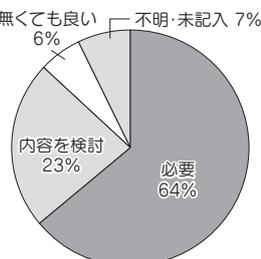
意見交換会の内容について



議会活動について



議会の概要について



く話し合っ決めていく。統合することによるメリットもあると思う。いろいろな意見を聞いて、執行部に伝えたい。

回答 少子化で活動が縮小傾向にある中、各地域で運営に苦勞しているのは理解している。教育委員会に要望していく。

大学進学費用について

質問 子どもを大学に行かせるのに非常に費用が掛かる。給付型の奨学金を検討してほしい。

回答 日本の奨学金は貸付型が主だが、欧米では「子どもは国の財産」と言う考え方から給付型が多い。今後研究していきたい。

雇用対策について

質問 建設業の従事者がだんだん減っている。災害時の重機操作など、住民が安心して暮らすためにも、雇用の拡充が望まれる。

回答 議会においても課題として認識している。公共事業の活性化や予算措置について、執行部にしっかり伝えたい。

ひとり暮らし高齢者の支援について

質問 今後ますますひとり暮らしの高齢者が増えていくと、施設入所やお墓、財産管理などの問題に対応しきれない。そういった問題を行政が一括して支援することで、複雑化するのを



未然に防ぐことができると思う。
回答 少子高齢化の問題は構造的な対策が必要と感じている。そういった手法も研究する価値があると思う。

高齢者の移動支援について

質問 リーバスで買い物に行く際にも、高齢者にとって両手に荷物を持ったままバスに乗るのは困難。「手押し車ごと乗れたらいいのに」という声が多く聞かれる。何とか対応できないか。

回答 高齢者がバスで買い物に行くのは大変なことだと思う。予算の問題もあるが、バスに昇降機が付けられないか、今後要望していきたい。

高齢者肺炎球菌ワクチン予防接種について

質問 病気予防の習慣づけという考え方が大切。年齢にかかわらず接種費用を助成すべきだと思う。

回答 国の施策が終了した後は、市の負担で継続していくかどうかということになる。議会として、国や市に支援の継続・拡大を要望していきたい。

ボランティア活動における補償制度について

質問 市民が安心してボランティア

ティアなどの活動を行えるよう、事故等に備えた補償制度を整備してほしい。

回答 地域における互助・共助は今後ますます大切になってくるので、そういった地域の活動における十分な補償制度が必要だと感じている。市でも対応すべく検討しているようなので、議会からも後押ししたい。

豪雨被害対策について

質問 近年、局地的豪雨が増え、河川の氾濫が心配。大雨の度に川の水かさが増し、堰が塞がってしまう。抜本的な対策が必要だと思う。

回答 市でも毎年、河川改修工事を発注しているが、鹿沼は川が多く、改修には多額の予算がかかり、なかなか進まないのが実情。引き続き、県や市に強く要望していきたい。

いちご市のPRについて

質問 いろいろ工夫して市内では認知されてきたが、重要なのは地区外からどれだけ人を呼び込めるか。東武日光線でラッピング電車を走らせたたりなど、予想外のことをやってはどうか。



回答 議会では、決算特別委員会の際に「いちご市のPR予算が少ない」と指摘したり、予算の追加要望をしている。もっと力を入れるよう、さらに求めていく。

議員のなり手不足について

質問 全国的に問題になっている。若い人や一般のサラリーマンも立候補できるように、議員定数や報

参加者の声

高齢男性の参加がほとんど。若い人や女性の参加を促進すべき。

普段は議員と話す機会がないので、参加できて良かった。

意見交換をしても、その後の具体的な答えがない。検討や取組を行った結果の報告もお願いしたい。

意見交換会のテーマが難しい。もっと意見が出やすいテーマにした方がいい。

議会は市民とのパイプ役なので、市民の声を拾い上げる場をこれからも提供してほしい。

グループに分かれて意見を出し合う形式の方が、いろいろな意見要望を聞けるのではないかな。



酬などの環境を整えてほしい。
回答 議会として、そういった視点でも議会改革を議論している。もっと市政に関心を持ってもらえるような議会活動をしていかなければならない。

皆さんの声を市政に届けるべく活動を継続・充実化していきます



鹿沼市議会 議長 大島 久幸
平成24年度にスタートした議会報告会・意見交換会ですが、今年度は前後期合わせ15地区で開催することができました。

いずれの地区においても、私たちの議会活動や市政に対して、忌憚のない率直な意見を多数いただきました。大変ありがとうございました。これまで回数を重ねてきたこともあり、この会の開催方法の見直しについての意見も各地区で聞かれました。

皆さんの声を市政に反映させることが私たち議員の務めでありますので、そういった仕組みづくりも再考しながら、今後も活動を継続・充実化していきたいと思えます。

市政を問う

市街化調整区域の土地活用について伺う



第5回定例会で17人が登壇
鹿沼市政について質問をしました。



質問

市街化調整区域の土地活用について、①県内自治体の対策②本市の対策について伺う。

答 弁(市長)

開発行為に係る基準緩和の条例制定に向けて取り組んでいきます。

市街化調整区域は、市街化を抑制すべき区域であり、建築できる建築物は都市計画法により限定されています。

①少子高齢化が進行し、コミュニティの維持が困難となることが予想されることから、県内自治体においては、「都市計画法に基づく開発行為の許可基準に関する条例」を制

定し、開発行為の基準緩和を行って

います。これは、これまで農家住宅や分家住宅しか建築できなかったものを、区域や建築物の用途等を指定し、特定の人に限らず住宅等の建築を可能とするものです。現在、宇都宮市・小山市・足利市・栃木市・佐野市でこの条例を制定しています。

②本市の市街化調整区域も、人口減少による地域のコミュニティ維持等が大きな課題となっていることから、今後、区域や建築物の用途等について

の課題を整理しながら、条例制定に向けて取り組んでいきます。区域指定の要件としては、市街化区域に隣接または近接し、かつ、自然的社会的諸条件から市街化区域と一体

的な日常生活を構成していると認められる地域であつて、市街化区域に存するものも含め50戸以上の建築物が連たんしていることなどがあり、

また、除外すべき土地として、急傾斜地や農振農用地、保安林、国県立自然公園等の土地を含まないこととされています。これらのことを勘案しながら、条件整備をしつつ、条例制定に向けて地区等の検討を進めていきたいと考えています。

◆その他の質問事項

○首都圏等における鹿沼産材の需要拡大について

○高鳥屋山における遊歩道の整備について

○高齢者福祉について



鈴木 敏雄 議員

健康マイレージ事業について伺う



質 問
①導入予定②事業目的③具体的な事業内容について伺う。
答 弁(保健福祉部長)
来年4月から「チャレンジ15(いちご)健康マイレージ」を実施します。
①来年4月から実施する予定です。現在、事業開始に向けて準備を進めています。
②市民が自ら健康づくりのための活動を実施・継続することで、健康増進に努め、健康寿命の延伸を図ることを目的としています。ポイントを貯めることにより、健康診断やがん検診・歯科健診の受診者を増やし、市

民が継続的に運動や食事等の健康づくりに取り組むきっかけづくりをしていきたいと考えています。
③事業名称を「チャレンジ15(いちご)健康マイレージ」とし、市内在住の20歳以上の方を対象に実施する予定です。周知方法については、広報かぬま4月号と一緒に配布する「健康ガイドブック」に、事業内容についての説明や応募台紙を掲載するとともに、広報かぬま、ホームページ、ケーブルテレビで周知をしていきます。応募要件は、まず市で行う特定健診や職場での健康診断を必ず受けていた

◆その他の質問事項
○デスティネーションキャンペーン(DC)について
○地籍調査事業について
○空き家対策について

横尾 武男 議員

(仮称)都賀西方スマートインターチェンジについて伺う



質 問
①整備計画と進捗状況②本市への波及効果について伺う。
答 弁(都市建設部長)
本市への効果も大きいことから、予算拡充等を要望していきます。
①(仮称)都賀西方スマートインターチェンジは、平成28年5月27日付で新規事業化され、同年6月6日に国土交通大臣より連結許可を取得しました。栃木市によりますと、2020年度末の開通を目指し、事業に着手しており、全体の整備事業費は概算で24億5千万円となる見込みです。インターチェンジか

ら国道293号へアクセスする連絡道路の整備を東日本高速道路株式会社(ネクスコ東日本)に委託する予定と聞いています。本市としても、栃木県を初めとした関係12市町で組織する「栃木県スマートインターチェンジ・追加インターチェンジ整備促進協議会」を通じて、国土交通省等へ予算の拡充等を要望していきます。
②東北自動車道の栃木インターチェンジと鹿沼インターチェンジ間は約19キロメートルと長いことから、近接するスマートインターチェンジが設置されれば、沿線住民の利便性の

◆その他の質問事項
○鹿沼秋まつりについて
○宇都宮西中核工業団地について
○前日光高原のリニューアルについて
○畜産の振興について

公園・学校の遊具整備について伺う



質 問

城山公園の施設器具について、
①ローラー滑り台の保全管理状
況②同じく利用促進策③トイレ
の洋式化について伺う。

答 弁(市長)

ローラー滑り台の全面的な修繕を来年度実施します。

①このローラー滑り台は総延長が115メートルあり、市内外の子どもたちや家族連れの皆さんなどに親しまれています。しかし、平成7年の整備以来、23年が経過し、不具合のある部分はその都度部品交換等の修繕を行ってきましたが、老朽化が進

んでいます。ローラー滑り台は、市を代表する遊具の一つであり、千手山公園や「子どもの遊び場」の整備計画を進めている花木センターなどとともに、市内外の子どもたちに親しまれている施設として、これからも継続的に活用していくため、来年度全面的な修繕を実施したいと考えています。

②城山公園の年間を通したPRを行いながら、ローラー滑り台の大きな高低差やカーブの多さなどの特色をアピールし、市内外から誘客を図りたいと考えています。

③公衆トイレは、公園の利用

者にとって重要な施設であると認識をしています。ローラー滑り台の修繕に合わせ、トイレの洋式化を実施していきます。

◆その他の質問事項

○子ども虐待について

東武日光線西側沿線地区の振興について伺う



質 問

①小藪川沿いの振興②サイクリングロードの創設について伺う。

答 弁(総務部長)

小藪川沿いは様々な地域資源を有していますので、地域との協働により振興に取り組んでいきます。

①小藪川は、日吉町から野沢町までの約12・1キロメートルの区間を流れる河川です。現在、小藪川沿いにおいて、住民の皆さんが安全に生活できることを最優先に、「小藪川上流域市街地安心プラン」に基づき、住民や栃木県と協力しながら、河川

改修を初めとする浸水被害の軽減に取り組んでいます。また、小藪川沿いに限らず、市内各地域の振興については、地域の実情に応じた事業を展開できるよう、住民の皆さんの主体的な取り組みを支援しているところであります。小藪川沿いは様々な地域資源を有していますので、その活用については、地域の皆さんとの協働のもと、振興に取り組んでいきます。

②国の動きとして、今年6月に「自転車活用推進計画」が策定され、健康長寿社会や観光立国の実現など、幅広い分野において自転車を活用していくこと

が掲げられました。本市においても、市民団体による自転車関連事業が実施されるなど、自転車への関心が高まっていることから、国や栃木県の動向を注視しながら、サイクリングロードなどのハード整備にとらわれず、本市のまちづくりに適した自転車活用の方向性を検討しているところであります。

◆その他の質問事項

- 平成31年度の予算編成について
- 新学習指導要領に対応できるICT機器の選定及び整備について
- 指定管理者の選定について

谷中 恵子 議員

通学路の安全確保について
伺う



質 問
①各種組織等との連携②上石川十文字から北犬飼中学校までの歩道整備の進捗③同十文字から消防署東分署までの整備計画と進捗について伺う。

答 弁（教育次長・都市建設部長）
上石川十文字から北犬飼中学校までの歩道整備を今年度・来年度で進めます。

①平成25年10月に関係機関の連携を図るため、栃木県鹿沼土木事務所、鹿沼警察署、教育委員会事務局、都市建設部、市民部をメンバーとする「鹿沼市通学路交通安全対策連絡会議」を設置し、平成26年12月に「鹿沼

市通学路交通安全プログラム」を策定するなど、通学路の安全確保を図ってきました。

②この区間は、延長約140メートルであり、交差点のすりつけ区間として現在整備を進めています。北犬飼中学校の入り口部分から交差点に向かって約40メートルの歩道整備については、10月下旬に道路改良工事を発注しました。現在は、業者による自治会長や中学校など関係者への説明や工事の準備を行っているところであり、今月上旬には現場へ入る予定で、年度内の完成を目指しています。また、交差点までの延長100メートルの区

間についても、来年度工事を実施する予定です。

③国道121号から極瀬川までの延長約350メートルを優先区間と位置づけ、今年度も引き続き物件移転補償及び用地取得を進めています。また、極瀬川から消防署東分署までの延長約850メートルの区間については、来年度用地測量及び物件補償調査を予定しており、これからも財源確保に努めながら、事業を推進していきます。

◆その他の質問事項
○生涯学習ボランティアの育成について
○消防団の支援について

大貫 武男 議員

中山間地の諸課題について
伺う



質 問
新規作物（マカ）の導入支援について伺う。

答 弁（経済部長）
マカ栽培の拡大を目指し、生産者の支援と栽培技術の確立を進めていきます。

平成29年度から、中山間地域において新規作物マカ導入の実証栽培を実施しています。今年度も5地区6カ所で栽培契約を締結し、本市での栽培技術の確立に取り組んでおり、作付面積は11・3アール、約4万株を栽培しています。8月下旬に播種、育苗期間を経て、9月末から10月上旬に定植しました。栽培指

導者の現地指導の際には、生育は順調であるとの評価をいただき、その成果が期待されるところです。10アール当たり300キログラム以上の収穫があれば成功と言われており、それを目指して、栽培技術確立の支援をしていきたいと考えています。

マカは契約栽培で、栽培地や栽培面積は契約先との交渉により成立します。収穫物は、全量買い取りすることが約束されており、販路の心配がありません。また、買取価格の条件となる品質は、昨年度、本市では全て基準を満たしたところです。さらに、マカの買取価格は品質で変

動しますが、その幅は1割程度と少ないことから、生産者は安心して栽培に取り組むことができます。

本市のマカ栽培の拡大を目指すためには、国産マカ栽培地としての信用と信頼を契約先から獲得することが必要です。まずは、県上都賀農業振興事務所の協力を得ながら、生産者を支援し、栽培技術の確立を進め、契約先と生産面積拡大、他地区への導入など、次のステージに向けて取り組んでいきたいと考えています。

◆その他の質問事項
○市政の諸課題について

LGBT支援に向けた施策 について伺う



質 問

同性パートナーシップについて、市民からの相談②同性カップル公認制度の導入について伺う。

答 弁 (市民部長)

まずは市民の理解を深めるための啓発を積極的に推進します。

LGBTとは「レスビアン、ゲイ、バイセクシュアル、トランスジェンダー」の頭文字であり、それぞれ、女性の同性愛者、男性の同性愛者、両性愛者、心の性と体の性が不一致の方々を総称する言葉です。LGBTのうち、LGBの三者は性的指向にかかわる類型であり、Tは性自認に関する類型です。そのほか、セクシュア

ル・マイノリティ全般を表した「Queer(クイア)」や性的指向や性自認がはつきりせず決められない、あるいは決めたくないと感じる人々を「Queering(クエスチニング)」として表現する類型もあります。現在の日本では、同性同士の結婚が合法化されていないため、夫婦であれば受けられる様々なサービスを受けることができない同性カップルも存在します。このようなケースの不公平感を是正するために、婚姻関係に相当する権利を認めることを目指すのが同性パートナーシップ制度ですが、現在のところ、その法的拘束力は認められていない状況です。

①本市において、LGBTに関する

る相談を受けたとの報告は現在のところありません。

②まずは前提として実態の把握が必要であり、次に、市民の認知の理解が必要です。その上で、当該の方々の自覚と積極性が求められますので、それらも十分踏まえつつ、まずは市民のLGBTについての理解を深めるための啓発を積極的に推し進めていくとともに、先進事例等についても研究していきたいと考えています。

◆その他の質問事項

- 有害野生鳥獣被害対策について
- 鹿沼市おたけの家「いちごいち家」について
- 鹿沼市「市歌」の普及について

野球場の整備状況について 伺う



質 問

①整備状況・改修履歴等②利用チーム数③ナイター利用状況④今後の改修予定について伺う。

答 弁 (教育次長)

TKCいちごアリーナの改修を優先しながら、市内スポーツ施設の改修整備を計画的に進めます。

①市内には5つの野球場が整備されています。御殿山公園野球場は、昭和25年開設、夜間照明あり、主に軟式野球使用、駐車場は約30台です。以降同様に、台の原公園野球場は、昭和44年、照明あり、軟式野球、約100台。鹿沼運動公園野球場は、昭和53年、照明あり、軟式・硬式野球、

約350台。自然の森総合公園野球場は、昭和62年、照明なし、軟式野球、36台。栗野運動公園野球場は、平成11年、照明あり、軟式野球、約300台です。なお、大規模な改修は御殿山公園野球場のみであり、昭和53年度に内外野スタンド、バックネット、スコアボード等の改修を行い、昭和59年度には夜間照明施設を設置しました。

②軟式野球では、鹿沼市野球協会や鹿沼市野球連盟に加盟のチーム、市内の中学校やスポーツ少年団など160チーム、また硬式野球では、市内のクラブチームや高校、県内の大学など20チームです。

③夜間照明が設置されている4球場の平成29年度の利用者数4万3

千299人のうち夜間は5千827人、同じく利用件数延べ767件のうち180件です。

④スポーツ施設の大規模改修には多額の費用が掛かるため、国・県の補助金や助成金などの財源確保が必要です。現在、都市公園整備関係の国庫補助金は、2022年に開催される「とちぎ国体」の競技施設整備が優先されており、本市においても競技会場となる鹿沼総合体育館(TKCいちごアリーナ)の改修を優先しながら、市内スポーツ施設の改修整備を計画的に進めていきたいと考えています。

◆その他の質問事項

- 外国人材の受入拡大について

加藤 美智子 議員



子ども環境について伺う

質 問

子ども未来基金の拡充について、①子ども食堂新設後の資金支援②今後の基金の用途に係る考え方について伺う。

答 弁（子ども未来部長）

貧困対策を基本としながら、子育て支援や少子化対策など弾力的な運用を図っていきます。

①子ども食堂は、子どもたちに栄養のある食事を無料、または安価で提供するとともに、学習支援を行うことで、温かな団らんを提供することを目的として、地域のボランティアにより運営されています。子どもの居場所づくりや子育て支

援に有効であるとともに、地域住民の交流の場としての役割も期待されています。本市では、子どもみらい基金を活用し、子ども食堂の開設計に必要な備品等の購入や施設改修などに係る費用を助成しており、現在まで5カ所に助成しました。また、昨年度「とちぎこいプ生活協同組合」と包括連携協定を締結しましたが、同組合員から提供を受けた調味料を初め、お米や乾麺、菓子類や飲料などの食品を子ども食堂に提供しています。子ども食堂は、地域で支えて続けていくことが重要であり、今後、運営状況等を確認しながら、支援の拡充を検討したいと考えています。

②子どもみらい基金は、寄附者の意向を反映し、子どもの貧困対策の財源として創設したものです。使途については貧困対策事業を中心に、子育て支援事業にも活用しています。本年度は、子ども食堂の開設計成や貧困家庭における緊急支援のほか、子育てに関するイベント等を助成する「いちごっこ地域活動応援事業」の財源としても活用しています。今後は、子どもの貧困対策を基本としながらも、子育て支援や少子化対策など、弾力的な運用を図っていきたいと考えています。

◆その他の質問事項

- ふるさと納税について
- 福祉の連携事業について

鯉原 一男 議員



住民投票について伺う

質 問

新庁舎整備事業について、市民の声を耳を傾ける「鹿沼市新庁舎整備位置を問う住民投票条例」を定め、平成31年4月予定の統一地方選挙に合わせて、鹿沼市新庁舎整備建設位置を問う住民投票を実施することについて伺う。

答 弁（市長）

建設位置を問う住民投票を実施する考えはありません。

これまでの一般質問でも、何回か同じようなことを繰り返してきましたけれども、執行部として、新庁舎の建設位置を問う

住民投票を実施する考えはありません。

◆その他の質問事項

- 新庁舎整備事業「現在の場所」について
- 教育委員会の分離について
- 鹿沼市新庁舎整備基本方針（案）に対するパブリックコメント回答の一部その他について
- 新庁舎建設工事について

市田 登 議員

子育て支援について伺う



質 問

ひなた保育園の民営化について、①整備概要②開園までのスケジュール③利用者要望への対応について伺う。

答 弁(こども未来部長)

2020年4月の開園に向け、3者会議等を通じて保護者の不安や負担の軽減に努めます。

①本年6月22日から9月7日まで、整備法人を募集し、「鹿沼市ひなた保育園民営化に係る保育園整備応募法人評価委員会」の評価結果を受け、栃木市内で2つの認定こども園を運営している「学校法人しずわでら学園」を整備法人に決定しました。現在の

ひなた保育園から県道石裂上日向線

を西に約600メートル進んだ上日向地内に、敷地面積4千419・54平方メートル、木造平屋一部2階建て、延べ床面積880・66平方メートル、定員100名で整備する予定です。新保育園の名称は、整備法人が今後決定することになります。

②2019年7月頃から新園舎建設工事を開始し、10月からは現在のひなた保育園において、入所児童の引き継ぎ保育を行い、2020年4月の開園に向けて整備を進めていく予定です。

③整備法人決定後の10月に、保護者、整備法人、市による3者会議を開催し、法人の概要や整備場所、今後のスケジュール、保育方針などを保護者へ説

明するとともに、「民営化後の園行事や保育士への要望等」についてのアンケートを実施し、保護者の意見や要望を確認しています。市では、保護者の意見や要望にできるだけ沿えるよう、整備法人とともに対応していきたいと考えています。今後も、3者会議を必要に応じて開催し、保護者の不安や負担、園児の心理的負担を軽減できるよう丁寧に進めていきます。また、民営化後も保護者アンケートなどを行うなど、継続的に経過管理を行っていきます。

◆その他の質問事項

- 本市の都市計画について
- 新庁舎整備事業について
- 北小学校耐震改修工事について

阿部 秀実 議員

議案第91号 鹿沼市医科歯科急患診療施設条例の一部改正について伺う



質 問

鹿沼市医科歯科急患診療施設条例の第3条と第5条の改正について、改正後の診療日数・時間、診療体制について伺う。

答 弁(保健福祉部長)

現在の内科・小児科・歯科に加え、新たに外科の一部を鹿沼地区夜間急患診療所において実施します。

まず、現在の診療体制についてですが、内科・小児科については、鹿沼地区休日夜間急患診療所にて、昼間は日曜日・国民の祝日、12月31日から1月3日の午前10時から午後5時までで、

年間約70日を実施しています。夜間は、月曜日・水曜日・金曜日・日曜日・国民の祝日、1月2日・3日の午後7時から午後10時までで、年間約213日実施しています。歯科については、昼

間の実施日で、時間、日数とも同様となっております。また、外科については、各医療機関で行う在宅当番医制により、9つの医療機関において昼間の実施日と同様に実施しています。次に、改正後の診療体制については、内科・小児科・歯科は現行どおりですが、外科は年間70日のうち、5日から10日を鹿沼地区休日夜間急患診療所にお

いて、午前10時から午後5時まで実施します。それ以外の60日から65日については、現行の時間で、在宅当番医制にて実施する予定となっております。

◆その他の質問事項

- 鹿沼市高齢者総合福祉計画 第7期いきいきかめ長寿計画について
- 人口減少について
- 思川開発事業南摩ダム計画と河川改修について

市民との協働によるまちづくりについて伺う



質 問
①基本的な考え方②地域コーディネーターを担う職員の増強について伺う。
答 弁 (市民部長)
スキルを身につけるための職員研修や人事異動によるキャリア形成など、人材育成を図ります。
①本市では、平成24年4月に、鹿沼市自治基本条例を定め、市民自らが主体的にまちづくりに参画する、協働によるまちづくりを推進しています。本条例の基本理念に基づき、市民と市、議会が相互に連携し、それぞれの役割及び責任を果たしながら、誰もが住ん

でよかったと思えるような地域社会の実現に向け、地域全体の様々な課題に対し、協働して解決していくことに努めています。
②よりよい地域を構築するためには、各々が「自分ごと」と考え、地域づくりへの参加、行動できるようになること、また様々な組織が互いに協力し合い、地域づくりに取り組むことが必須です。また、コミュニティセンターは、課題の解決や協働を促進し、地域住民が主体的に事業を実施できるような支援するなど、地域におけるまちづくりの拠点であり、コーディネーターの機能が不可欠であると認識しています。そのため、コーディネーターの資質、能力を持った職員の配置や、現在進めている「地域の夢実現事業」に際して、地域担当職員として、各コミュニティセンターに3名の管理職級職員を配置するなど、工夫をしているところであります。今後は、職員の増員を視野に入れつつ、一方では、職員数の適正化も考慮しながら、コミュニティセンターに配置される職員がコーディネーターのスキルを身につけられるよう、各種研修や人事異動によるキャリア形成など、人材育成を図っていきます。

◆その他の質問事項
○鹿沼市総合戦略について
○オスプレイの本市上空の飛行について

保健事業について伺う



質 問
①大人の風疹予防接種②レディース検診の実施状況③健康マイレージ事業による検診受診率向上について伺う。
答 弁 (保健福祉部長)
レディース検診は好評であることから、来年度は実施回数を5回に増やす方向です。
①助成額は、麻疹風疹混合ワクチン5千円、風疹ワクチン3千円です。対象者は、市内在住で妊娠を予定もしくは希望している49歳以下の女性とその配偶者、また妊娠している女性の配偶者であり、事実婚の場合も対象となります。予防接種者実績は、

流行した時期に助成を行った平成25年度は、7月1日からの9カ月間で333人、平成29年度は130人、平成30年度は11月21日現在で145人です。平成30年度事業費は、320人の接種予定者を見込み、160万円です。抗体検査については、栃木県で妊娠を希望する女性と配偶者等を対象に無料で実施しており、県のホームページで周知されています。市のワクチン接種については、広報かぬま、ホームページ、医療機関でのポスター掲示のほか、婚姻届出時におけるチラシ配布などにより周知啓発を行っています。
②昨年度から実施していますが、昨年度は2回実施し、受診者451人、本年度は既に実施した2回で429人、

来年1月予定の3回目も、申込が245人の定員に達しています。希望者が多く好評であることから、来年度は5回に増やす方向で考えています。
③来年4月から健康マイレージ事業を実施します。すぐに受診率向上に結びつくかは難しいかもしれませんが、検診受診率約1%の増を目標として、受診者数では、胃がん・肺がん・大腸がんは各300人、子宮がん・乳がんは各200人、前立腺がんは100人の受診増加を見込んでいます。健康意識を高め、受診率向上に向けて啓発していきたいと考えています。
◆その他の質問事項
○子どもの学習環境の充実について
○消費生活トラブルについて

常任委員会の行政視察報告

総務常任委員会

- 10月30日 山口県しものせき 下関市
「新庁舎整備事業」「シティプロモーション」
- 10月31日 福岡県あさくら 朝倉市
「防災・災害行政」

朝倉市の防災・災害行政の取り組みについて

朝倉市は平成29年の九州北部豪雨で甚大な被害を受けたことから、適切な時期に適切な避難勧告を出すため、「気象災害予測支援システム」による実証実験を行いました。モニターに映し出された地図をベースに、複数の情報から二次災害の予測をするものです。その結果、市全体の河川の状況が見える化されたことで、的確な状況把握と所要の対応がなされたとのことでした。

本市においても、このシステムと例えばケーブルテレビをリンクさせることで、市民の安心な生活を守れる可能性があります。今後の対策を検討する上で大変参考になるものでした。



文教民生常任委員会

- 11月20日 石川県かが 加賀市 「プログラミング教育」
- 11月21日 愛知県かすがい 春日井市 「子育て世代包括支援センター」
- 11月22日 岐阜県きふ 岐阜市
「みんなの森・ぎふメディアコスモス」

加賀市のプログラミング教育について

加賀市では、小学4年生から学年に応じた画面上でのビジュアル入力による教材を使い、中学生ではロボットを動かす段階まで、年間5時間の授業を実施しており、さらに、ロボレーブの活用、中核教員養成事業、プログラミング講演会、ラズベリーパイ教室、クラブ活動の活性化・日曜日プログラミング教室など、多岐に渡っています。

本市においても、児童生徒に時代に対応する能力を習得させるという目的を達成するために、単に授業時間を確保するだけでなく、継続的かつ包括的な施策が必要と感じました。



環境経済常任委員会

- 10月30日 静岡県はままつ 浜松市
「浜松市フラワーパーク」
- 10月31日 愛知県おおぶ 大府市
「ウェルネスバレー構想」

浜松市のフラワーパークについて

浜松市フラワーパークは、一度清算が検討されたこともありましたが、あしかがフラワーパークの経営改善に携わった現理事長が、施設の強みである桜とチューリップを目玉とした整備と徹底した顧客目線による施設管理を進めた結果、年間30万人に満たなかった入園者数が2年で77万人まで増加しました。

施設の強みや起伏のある地形を生かした施設整備、また、施設が目指す姿を明確にし、実現のために様々な工夫を重ねる姿勢など、本市花木センターのさらなる充実強化を考える上で、参考ができるところが数多くあると感じました。



建設水道常任委員会

- 10月30日 福岡県きたきゅうしゅう 北九州市
「市民に愛される特色ある公園づくり」
- 10月31日 山口県しゅうなん 周南市
「徳山駅周辺整備事業」

北九州市の公園づくりについて

北九州市では、身近な公園の再整備計画案をつくるため、地域住民とのワークショップを開き、公園の役割や住民のニーズを地域住民が主体となって考えています。また、機能を特化させた中・大規模の公園が多いまちでもあります。例えば北九州交通公園は、来園者が交通ルールを体験しながら学べる公園で、多くの市民に利用されています。

公園もまちも賑わいを創出するためには、その主役となる「民」を巻き込み、アイデアやニーズを出し合うことが必要不可欠な手法です。官民の対話と役割分担が最重要であると感じました。



議会改革調査特別委員会の中間報告

本委員会は、議員定数について調査検討を進めた結果、議会の担うべき役割と責務が増大する中、多様な市民の意見を代表する意思決定機関として、執行機関に対する監視、評価をするほか、常任委員会の構成等議会活動に必要な議員数として24名は必要であるという意見が多数であったことから、「24名、現状維持とする」ことでまとめました。

請願・陳情はこんな方法で

請願・陳情とは、市政全般について議会に善処を要望することです。議員の紹介があるものを請願、ないものを陳情と言い、陳情も請願に準じて取り扱います。

請願・陳情は、議会において採択の可否を審査します。ただし、陳情は、その内容等によっては請願に準ずる審査等をしない場合があります。

〔請願・陳情の提出要領〕

A 4判、署名または記名押印して提出してください。

※注意事項

- ①鹿沼市の権限内の事務に限ります。
- ②要旨や理由は簡潔に記入してください。
- ③道路・水路等は地図または略図を添付してください。

請願書	件名 ○○○○について 要旨 ○○○○の△△に関する ××を要望します。 理由 □□□□□□□□ □□□□□□□□ □□□□□□□□ □□□□□□□□。
紹介議員 今宮 三男 氏名 鹿沼 太郎	平成○年○月○日 鹿沼市議会議長様 請願人代表 鹿沼市○○町○○番地○ 鹿沼 太郎(印)

〔審査されない請願・陳情〕

- ① 国、県の機関等に要望した事項に対する実現方、協力を求めるもの
- ② 議会において採択した請願または陳情について、当該請願書又は陳情書を提出した者から、その実現方、協力を求めるもの
- ③ 議会の審議に付する必要がある旨の申し出がなされたもの
- ④ 市長に要望した事項について議長あてに提出されたもの。実質的には市長の検討事項となるが、議長に実現方協力を求めるもの
- ⑤ 議長が各党派幹事会の意見を聞き、請願の例により処理する必要がないと認めるもの
- ⑥ 郵送、メールにより提出されたもの

平成30年第5回

12月定例会の結果

人事

(敬称略)

人事案件が議決されました。(議案第96号)

人権擁護委員

柏木 敬子 (かしわざい けいこ・上大久保)

請願・陳情の結果

1件の陳情が審査されました。結果は次のとおりです。

■陳情第3号 市民に開放された新庁舎本会議場の建設を求める陳情 不採択

提出議案について

議員の賛否を公表

市長提出議案34件、議員提出議案1件が提出されました。
 議員数23名、表決参加議員数22名(議長は表決には加わりません。)

賛否の分かれた議案【可決】

平成30年度補正予算	議案66 平成30年度鹿沼市一般会計補正予算(第2号)について 補正額を2億213万9千円の増とし、予算総額を388億4,539万9千円とするものです。		賛成 【公明党】荒井正行・鈴木敏雄 【自由民主党】横尾武男 【経世会】石川さやか・館野裕昭・小島 実・湯澤英之 【無所属市民クラブ】加藤美智子・大貫武男・船生哲夫 【親悠会】市田 登・谷中恵子・関口正一 【日本共産党】阿部秀実 【無所属】佐藤 誠 【民主クラブ】島田一衛・大貫 毅
	反対 【自由民主党】増淵靖弘 【自民党クラブ】鈴木 毅・津久井健吉・鰐原一男	不参加 【自民党クラブ】赤坂日出男	
	議案89 鹿沼市民情報センター条例の一部改正について 教育委員会事務局の市民情報センターへの移転に伴い、市民の利用に供する施設の範囲を見直すためのものです。		賛成 【公明党】荒井正行・鈴木敏雄 【自由民主党】横尾武男 【経世会】石川さやか・館野裕昭・小島 実・湯澤英之 【無所属市民クラブ】加藤美智子・大貫武男・船生哲夫 【親悠会】市田 登・谷中恵子・関口正一 【日本共産党】阿部秀実 【民主クラブ】島田一衛・大貫 毅
反対 【自由民主党】増淵靖弘 【自民党クラブ】鈴木 毅・津久井健吉・鰐原一男	不参加 【自民党クラブ】赤坂日出男 【無所属】佐藤 誠		
条例の一部改正	議案97 鹿沼市議会議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部改正について 人事院勧告に基づく国家公務員の給与改定に準じ、市議会議員の期末手当の額を引き上げるためのものです。		賛成 【公明党】荒井正行・鈴木敏雄 【自由民主党】増淵靖弘・横尾武男 【経世会】石川さやか・館野裕昭・小島 実・湯澤英之 【無所属市民クラブ】加藤美智子・大貫武男・船生哲夫 【親悠会】市田 登・谷中恵子・関口正一 【自民党クラブ】鈴木 毅・津久井健吉・赤坂日出男 【無所属】佐藤 誠 【民主クラブ】島田一衛・大貫 毅
	反対 【日本共産党】阿部秀実	不参加 【自民党クラブ】鰐原一男	

市長提出議案34件、議員提出議案1件が提出されました。
議員数23名、表決参加議員数22名（議長は表決には加わりません。）

賛否の分かれた議案【否決】

議員提出議案

議員案6 鹿沼市新庁舎整備位置を問う
住民投票条例の制定について

鹿沼市新庁舎の整備位置について市民の意思を確認するため、住民投票条例を制定するためのものです。



賛成

【自由民主党】増淵靖弘
【自民党クラブ】鈴木 毅・津久井健吉・鵜原一男・赤坂日出男

反対

【公明党】荒井正行・鈴木敏雄 【自由民主党】横尾武男
【経世会】石川さやか・館野裕昭・小島 実・湯澤英之
【無所属市民クラブ】加藤美智子・大貫武男・船生哲夫
【親悠会】市田 登・谷中恵子・関口正一
【日本共産党】阿部秀実 【無所属】佐藤 誠
【民主クラブ】島田一衛・大貫 毅

全議員が賛成した議案【可決】

平成30年度補正予算

議案67 平成30年度鹿沼市国民健康保険特別会計補正
予算(第2号)について

歳出予算の更正として、国民健康保険関係職員給与費の増額を計上し、予備費を減額するものである。

議案68 平成30年度鹿沼市公共下水道事業費特別会計
補正予算(第2号)について

補正額を30,850,000円の増とし、予算総額を2,517,650,000円とするものです。

議案69 平成30年度鹿沼市農業集落排水事業費特別会計
補正予算(第2号)について

歳出予算の更正として、農業集落排水管理事務費、農業集落排水処理施設管理費、地方債償還元金及び予備費の増減額を計上するものです。

議案70 平成30年度鹿沼市介護保険特別会計補正予算
(第2号)について

補正額を13,254,000円の増とし、予算総額を 8,364,215,000円とするものです。

議案71 平成30年度鹿沼市水道事業会計補正予算(第1号)について

資本的支出において、支出総額を2,900,000円増額補正するものです。

議案72~84 指定管理者の指定について

下記のとおり、各公共施設の指定管理者を指定するためのものです。

- ・市民プールを除く千手山公園……………鹿沼市観光物産協会
- ・屋台のまち中央公園……………鹿沼市観光物産協会
- ・鹿沼市水田作近代化施設のうち大規模乾燥調製貯蔵施設……………上都賀農業協同組合
- ・大規模乾燥調製貯蔵施設を除く鹿沼市水田作近代化施設……………有限会社農業生産法人かぬま
- ・鹿沼市粕尾ふれあいの郷交流施設……………粕尾ふれあいの郷づくり推進協議会
- ・鹿沼市花木センター及び鹿沼市林産物需要拡大施設……………公益財団法人鹿沼市花木センター公社
- ・かぬま手づくりの里……………かぬま手づくりの里運営委員会
- ・鹿沼駅前自転車駐車場……………株式会社栃木リンレイテクノサービス
- ・鹿沼市民情報センター及び鹿沼市文化活動交流館…宮ビルサービス株式会社
- ・御殿山公園、台の原公園、千手山公園のうち市民プール、鹿沼市体育館、鹿沼市北犬飼体育館及び兒子沼公園テニスコート……………公益財団法人かぬま文化・スポーツ振興財団
- ・鹿沼運動公園及び自然の森総合公園……………公益財団法人かぬま文化・スポーツ振興財団
- ・栗野総合運動公園、鹿沼市栗野勤労者体育センター、鹿沼市栗野トレーニングセンター及び鹿沼市栗野B・G海洋センター……………公益財団法人かぬま文化・スポーツ振興財団
- ・鹿沼市立図書館東分館…シダックス大新東ヒューマンサービス株式会社

指定管理者

議案85 鹿沼市長の選挙におけるビラの作成の公費負担に関する条例の一部改正について

公職選挙法の一部改正に伴い、市議会議員の選挙におけるビラの作成に要する経費を公費で負担するためのものです。

議案86 鹿沼市税条例の一部改正について

地方税法等の一部改正に伴い、軽自動車税における環境性能割制度の導入、市民税における法人税割の税率の引下げ等を行うためのものです。

議案87 鹿沼市都市計画税条例の一部改正について

地方税法の一部改正に伴い、引用する同法の条項を整理するためのものです。

条例の一部改正

条例の一部改正

議案88 鹿沼市手数料条例の一部改正について

建築基準法の一部改正等に伴い、1年を超えて使用する仮設建築物の建築の許可に要する手数料の新設等を行うためのものです。

条例制定

議案90 鹿沼市手話言語条例の制定について

手話が言語であるとの認識に基づき、手話の普及に関し、基本理念を定め、市、市民及び事業者の責務を明らかにするとともに、手話に関する施策の基本的事項を定めることにより、その総合的かつ計画的な推進を図り、もって全ての市民が相互に人格と個性を尊重し合いながら共生する地域社会を実現するためのものです。

条例の一部改正

議案91 鹿沼市医科歯科急患診療施設条例の一部改正について

休日夜間急患診療所の診療科目に新たに外科を設けるためのものです。

議案92 鹿沼市国民健康保険条例の一部改正について

本市の国民健康保険事業の運営に関する協議会を組織する委員のうち、被用者保険等保険者を代表する委員の数を1人とするためのものです。

条例制定

議案93 鹿沼市前日光あわの山荘条例の制定について

前日光地域の豊かな自然及び文化の体験の場を提供することにより、本市の観光産業の振興を図るとともに、市民の福祉向上及び地域の活性化に寄与するため、鹿沼市前日光あわの山荘を設置するためのものです。

条例の一部改正

議案94 鹿沼市と栃木県信用保証協会の損失補償契約に基づく回収

納付金を受け取る権利の放棄等に関する条例の一部改正について

産業競争力強化法の一部改正に伴い、引用する同法の条項を整理するためのものです。

議案95 鹿沼市公共下水道事業受益者負担に関する条例の一部改正について

公共下水道の整備に伴い、府所町及び下武子町の区域の一部を第20負担区として定め、下水道事業受益者負担金を定めるためのものです。

人事

議案96 人権擁護委員候補者の推薦について

(14ページをご覧ください。)

条例の一部改正

議案98 鹿沼市長等の給与及び旅費に関する条例の一部改正について

人事院勧告に基づく国家公務員の給与改定に準じ、市長、副市長及び教育長の期末手当の額を引き上げるためのものです。

議案99 鹿沼市一般職の職員の給与に関する条例の一部改正について

人事院勧告に基づく国家公務員の給与改定に準じ、一般職の職員の給料表及び勤勉手当の額を引き上げるとともに、昇給における評価期間の見直し及び通勤手当における支給限度額の設定を行うためのものです。

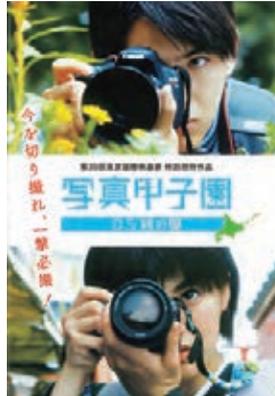


議会からの お知らせ

「写真甲子園 0.5秒の夏」上映会を開催しました

1985年に世界にも類を見ない「写真の町」宣言をした北海道東川町は、以来、「写真写りの良い町づくり」を進めてきました。94年からは全国高校写真部の日本一を決める大会である通称「写真甲子園」を開催しており、2017年にはその「写真甲子園」が映画化されました。

本市議員が議会活動を通じて東川町議会と結びつきがあったことから、昨年11月9日、鹿沼市民情報センターで本作品の上映会を開催しました。写真に青春を捧げる高校生たちの熱き姿を、東川町の美しい自然とともに描いた作品で、当日は菅原浩志監督にもご来場いただき、楽しいひと時を過ごしました。



栃木県市議会議長会の研修会に参加しました

昨年10月16日、さくら市氏家公民館で、栃木県市議会議長会主催の議員及び事務局職員研修会が開催され、本市から14名の議員が参加しました。

講師は、海上保安庁で女性として初めて巡視船船長を、また、橋下大阪府知事時代に特別顧問なども務めた永田潤子氏で、現在は大阪市立大学大学院創造都市研究科の准教授として、意思決定や公共経営を中心に研究している方です。当日は、「地域づくり・公共サービスのマネジメントと議会の役割」をテーマとして、自治体で取り込まれる施策について、その目標の設定方法や官民の役割と責任の分担などの重要性を勉強してきました。



議会カレンダー ～議会を傍聴しませんか～

2月		3月		平成31年第1回定例会の予定			
月	火	水	木	金	土	日	
2/18	19	20	21	22	23	24	
10:00 議会運営委員会							
25	26	27	28	3/1	2	3	
10:00 本会議(第1日) 提出議案の説明							
4	5	6	7	8	9	10	
		9:00 議会運営委員会 10:00 本会議(第2日) 議案質疑・一般質問	10:00 本会議(第3日) 議案質疑・一般質問	10:00 本会議(第4日) 議案質疑・一般質問			
11	12	13	14	15	16	17	
		10:00 総務常任委員会 環境経済常任委員会	10:00 文教民生常任委員会 建設水道常任委員会				
18	19	20	21	22	23	24	
9:00 議会運営委員会 10:00 本会議(第5日) 採決							
25	26	27	28	29	30	31	

※なお、正式な日程は議会運営委員会で決定します。詳細は議会ホームページをご覧ください。または議会事務局までお問い合わせください。(電話63-2203)

足立区議会写真部 作品展に出品しました

昨年12月11日から20日まで、足立区役所において「足立区議会写真部作品展」が開催されたことから、鹿沼市議会文化・スポーツ・芸術振興議員連盟からも、特別参加として9名が17点の力作を出品しました。



議員の辞職

平成30年12月31日付で、湯澤英之議員が議員を辞職しましたので、ご報告します。

表紙の写真は

去る1月3日、上粕尾の発光路公民館で、「発光路の強飯式」が催されました。これは、発光路妙見神社の祭り当番の受け渡し儀式として行われている行事で、国指定重要無形民俗文化財に指定されています。地元住民が扮した山伏と強力が、出席者に「酒なら33杯、湯が5杯、強飯75膳がお定まり。1粒1菜の許しはないぞ」と迫りました。